

来場時と退場時にQRコードを読み取ることで交付となります。QRコードを必ず持参してください。

*QRコードの発行については、日本薬剤師研修センターのHPをご確認ください。

■一般社団法人日本病院薬剤師会における日病薬病院薬学認定薬剤師制度(予定)*

※日本薬剤師研修センターと日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修単位申請はいずれか一方のみの発行となります。

■日本臨床衛生検査技師会における生涯教育点数(予定)

取得点数：2日間＝上限10点

生涯教育点数を取得したい方はご自身でお手続きください。

■日本作業療法士協会における生涯教育制度ポイント(予定)

取得ポイント：参加1ポイント、発表1演題につき1ポイント

ポイントを取得したい方はご自身でお手続きください。

■日本言語聴覚士協会における生涯学習プログラムポイント(予定)

取得ポイント：参加1ポイント、研究発表1ポイント

ポイントを取得したい方はご自身でお手続きください。

*参加の証明については参加者証(本人氏名が記入されたもの、学術総会公印付)を、発表者の証明については発表したことが証明できる資料(抄録のコピー等)をご自身で保管し、生涯学習プログラム修了証申請の証明書類としてご提出ください。

【専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の研修実績および研究業績等について】

本学術総会への参加または発表につきましては、公益社団法人日本看護協会の専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の研修実績および研究業績等として申請が可能です。手続きには、参加の場合は参加証、領収書のいずれか1点、発表の場合は、目次および抄録が必要です。保管の上、ご自身で手続きをお願いします。詳細は、公益社団法人日本看護協会のホームページをご確認ください。

【医療安全管理者養成のための研修について】

本学術総会の教育セミナー「医療安全」へ事前申込をして参加された方には、履修証明を発行します。

※詳細は、日本医療マネジメント学会雑誌25巻4号及び第27回日本医療マネジメント学会学術総会ホームページを参照ください。

講習会 開催報告

2024年度医師事務作業補助者指導者養成講習会に参加して

福岡赤十字病院診療支援課
医師事務作業補助者 坂口 久美子

医師事務作業補助者として配属後、外来診療支援、文書作成、オーダリング、NCDなどの業務をおこなっ



会場風景

ています。医師の業務負担軽減のため人員が増員され、各診療科担当制からグループ体制となり、現在リーダーを担う立場となりました。業務内容も多岐にわたる中で、私自身、業務の標準化や後進の育成、マニュアルの整備をどのように進めていくか模索している中、今回の講習会に参加することができました。

2クール計4日間の講習は診療録の記載や管理、情報セキュリティや基礎的な医学知識など幅広いプログラム内容でした。再確認しながら学べ、業務への理解が深まったことと、対面で受講することで医療を取り巻く環境や今後について生きた情報を得ることができました。

各クールで設定されたワークショップでは緊張もありましたが、開始後すぐに同じ業務をおこない、同じ悩みを抱えていることが共有できたため和やかな雰囲気で見聞交換ができました。第2クールの「病院経営への貢献」というテーマは自身にとって難しいテーマでした。他病院の方と新しい業務、考え方、視点についてディスカッションする中で、業務を可視化し評価することが重要であることを強く感じました。

最後に、スタッフとのつながりを大切に、職場環境を整え、医師の生産性向上につなげることを目標に、病院経営に貢献できる人材の育成につとめていきたいと思っています。

2024年度医師事務作業補助者指導者養成講習会に参加して

長野赤十字病院事務部医師業務支援課長 田中和美

2024年9月15日～16日、10月26日～27日の計4日間、本来の受講目的と併せて、ワークショップのテーマに魅力を感じて本講習会に参加しましたが、素晴らしい学びの機会となりました。